

多摩府中保健所  
結核対策メ-ゾキャラクター「肺えもん」

## 結核は過去の病気では ありません！

3月24日は「世界結核デー」



### 結核って何？どんな症状が出るの？

結核患者さんの咳やくしゃみ（しぶき）と一緒に結核菌が飛び散り、それを周囲の人が吸い込んで肺に届くことで結核に「感染」します。体は異物を外に出す力があるため、皆が感染するわけではありません。

結核の症状には、咳、たん、微熱、体のだるさ、体重の減少、食欲不振、寝汗などがあります。

東京都でも年間2,000人程度が新たに結核と診断されており、まだまだ過去の感染症ではありません。



### 感染するとすぐに周囲の人にうつすの？

結核菌に「感染」しただけでは周囲の人にうつしません。「感染」したのち、症状が進行して「**発病**」すると、周囲の人にうつす可能性があります。

「発病」するのは「感染」した人10人のうち1～2人程度です。糖尿病など他の病気で免疫機能が低下していると「発病」しやすくなります。



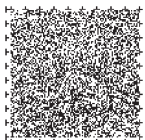
### 「発病」はどうやってわかるの？



発病を早期発見する第一歩は、胸部エックス線検査を受けることです。発病を早期発見すれば、入院せずに治療できることもあります。また、早期治療により、周囲の人への感染も最小限にできます。

**結核の早期発見・早期治療のため、  
年1回は胸部エックス線検査を受けましょう！**

結核について詳しく知りたい方は  で



【この記事に関するお問い合わせ】保健対策課 感染症対策担当